

■オーガナイザー

藤井 直敬

理化学研究所 脳科学総合研究センター

■スピーカー

山中 俊治氏

東京大学生産技術研究所

川畑 秀明氏

慶應義塾大学文学部心理学

藤井 直敬氏

理化学研究所 脳科学総合研究センター

# 社会

# 脳

# デザイン

Neuro2013 市民公開講座

文部科学省 科学研究費助成事業

# 社会、脳、デザイン

2013.7.15 (月・祝)

東京大学 / 伊藤謝恩ホール

(本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター内)

開場 13:00~、開始 14:00~、終了 16:50(予定)

[定員] 450名 [対象/参加方法] どなたでもご参加いただけます。当日参加 直接会場にお越しください。

[アクセス] ●本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩8分 ●本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩6分 ●湯島駅または根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩15分

[お問い合わせ先] Neuro2013 大会事務局 〒102-8481東京都千代田区麹町5-1弘済会館ビル 株式会社コングレ Tel:03-5216-5318 / Fax:03-5216-5552/ E-mail: staff@neuro2013.org

Neuro2013 市民公開講座

# 社会 脳 デザイン

14:00-14:05

開会:挨拶

加藤 忠史 (理化学研究所脳科学総合研究センター)

14:05-15:05

講演1「美しいモノをつくる意味」

山中 俊治 (東京大学生産技術研究所)

15:05-15:35

講演2「社会と脳」

藤井 直敬 (理化学研究所脳科学総合研究センター)

15:35-16:05

講演3「美と脳」

川畑 秀明 (慶應義塾大学文学部心理学)

16:05-16:15

休憩

16:15-16:45

パネルディスカッション

16:45-16:50

閉会:挨拶

藤井 直敬 (理化学研究所脳科学総合研究センター)

2013.7.15 (月・祝) 14:00~16:50

伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

## Neuro2013について

この公開講座は、Neuro2013の開催にあわせて行われます。Neuro2013は日本の脳神経研究の代表的な学会である日本神経科学学会、日本神経化学会、日本神経回路学会の3学会合同で、6月20日-23日に国立京都国際会館にて行われました。合同開催は、2007年、2010年に次いで3度目となり、今年の大会長を、加藤 忠史 第36回日本神経科学大会長、木山 博資 第56回日本神経化学会大会長、五味 裕章 第23回日本神経回路学会大会長が務め、約4000名の参加者が内外から集まり、研究の成果を発表し合う学術大会となりました。

会場の都合から大会そのものは京都で開催しましたが、研究成果の進展を広く社会と共有する公開講座は東京で開催することといたしました。

### 山中 俊治

(東京大学生産技術研究所)

1982年東京大学工学部産業機械工学科卒業後、日産自動車デザインセンター勤務。87年に独立。91~94年東京大学助教教授を勤める。94年にリーディング・エッジ・デザイン設立。08~12年慶應義塾大学教授。2013年4月より東京大学生産技術研究所教授。腕時計、カメラ、乗用車、家具、通信機器など、幅広い工業製品をデザインする一方、これまでデザイナーが関わってこなかった領域の研究に参画し、様々なプロトタイプを製作、発表している。04年毎日デザイン賞受賞、ドイツIF デザイン賞、グッドデザイン賞など受賞多数。2010年「Tagtype Garage Kit」がニューヨーク近代美術館パーマネントコレクションに選定。



### 藤井 直敬

(理化学研究所脳科学総合研究センター)

1965年広島県生まれ。東北大学医学部卒業。同大学院に入学、1997年博士号取得。理化学研究所脳科学総合研究センター応用知性研究チームチームリーダー。主要研究テーマは、コミュニケーションと社会脳の神経機構の解明。著書に「つながる脳」(NTT出版、毎日出版文化賞)など



### 川畑 秀明

(慶應義塾大学文学部心理学)

2001年 九州大学大学院人間環境学研究院後期博士課程修了。博士(人間環境学)  
2001~2002年 ロンドン大学ユニバーシティカレッジ神経生物学研究室研究員  
2002~2009年 鹿児島大学教育学部専任講師、助教授、准教授  
2009年~現在 慶應義塾大学文学部准教授  
研究概要:実験心理学や認知神経科学の手法を用いて、芸術に感じる美しさや創造性の基盤や、好みや選択をめぐる行動意思決定、異種感覚間に生じる統合や可塑性などに関する研究に従事。

最近の業績: I Choose, Therefore I Like: Preference for Faces Induced by Arbitrary Choice (PLoS ONE, in press), Economic profits enhance trust, perceived integrity and memory of fairness in interpersonal judgment (PLoS ONE, 2012), Temporal recalibration in vocalization induced by adaptation of delayed auditory feedback (PLoS ONE, 2012) など。主な著書に「脳は美をどう感じるか—アートの脳科学」(ちくま新書)など。

連絡先:E-mail: kawabata@flet.keio.ac.jp

